

令和7年度 中学校教育研究協議会御案内

令和7年4月吉日

ごあいさつ

陽春の候、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃から本校の教育実践や研究に対し、格別のご理解とご協力を賜り、ここに厚く御礼申し上げます。

本校では、「挑戦心を育む『令和の日本型学校教育』の実現」を研究主題に据え、個別最適な学びと協働的な学びの充実と両者の往還による豊かな学びの創造、「挑戦心」を育む学習評価の在り方などについての実践研究を進めて参りました。研究最終年度を迎える今年度は「学習者主体の授業が育む 未来への挑戦心」を副題として、予測不能な状況に順応する力の育成のみならず、直面する課題に子どもが主体的に向き合い、新たな価値を生み出し、変革をもたらすことができる力の育成を目指した教育実践を積み重ねて参りました。

本教育研究協議会では、各教科の特性等を踏まえた研究成果を発表するために、研究授業の公開に先立ち各教科の研究の視点について説明をし、工夫ある企画の下、研究討議を深めて参る所存です。つきましては、是非ご来校いただき、ご意見・ご指導を賜りたくご案内申し上げます。

埼玉大学教育学部附属中学校長 関口 睦

令和7年度 中学校教育研究協議会開催要項

1 研究主題

「挑戦心を育む『令和の日本型学校教育』の実現」
～学習者主体の授業が育む 未来への挑戦心～

- 2 期 日 令和7年5月27日(火)・5月28日(水)
- 3 会 場 埼玉大学教育学部附属中学校 〒336-0021 さいたま市南区别所4-2-5
TEL 048-862-2214 FAX 048-865-6484 mail fuchu@gr.saitama-u.ac.jp
- 4 趣 旨 上記主題のもとに実践上の諸問題について提案、および研究協議をする。
- 5 主 催 埼玉大学教育学部附属中学校
- 6 後 援 埼玉県教育委員会 さいたま市教育委員会 埼玉県連合教育研究会
埼玉県中学校長会 さいたま市中学校長会 埼玉縣市町村教育委員会連合会
- 7 日 程

12:30～	13:05～13:20	13:30～14:20	移 動	14:35～15:25	移 動	15:40～16:50
受付	教科等提案	研究授業Ⅰ		研究授業Ⅱ または講演会等		教科等分科会等

※教科等分科会等には講演会も含まれます。

- 8 持 ち 物 一般参会者の方は下足袋と上履きをお持ちください。

9 教科等研究授業・研究協議（分科会）

第1日 5月27日（火）

(1) 研究授業等 1校時（13:30～14:20） 2校時（14:35～15:25）

教科等	学年・組	校時	授業者	題材等
国語	2年D組	2	大塚 悠希	自分の思いを語ろう～目標を設定し、スピーチをしよう～
	3年D組	1	大谷 颯	「握手」を批判的に読もう～表現がもたらす効果を探ろう～
数学	1年A組	2	奥田 勇司	正負の数
	3年B組	1	大野 洋嗣	多項式
理科	1年B組	2	谷津 勇太	身の回りの物質
	2年C組	1	伊藤 慶祐	天気とその変化
	3年C組	1・2	小岩井 爽	地球と私たちの未来のために
音楽	1年D組	1	織田澤 絵里	曲の構成や曲想の変化を生かして合唱しよう
	ワークショップ	2		歌って感じる歌唱の専門性
美術	1年C組	2	小西 悟士	「造形実験」～緊張感を考える～
	2年B組	1	吉田 真梨	ひと口で〇〇！新駄菓子開発会議！

(2) 研究協議 分科会（15:40～16:50）

教科等	研究主題	教科等提案者	指導助言者	司会者
国語	実社会や実生活に生きて働く国語の資質・能力を育成する授業の創造～自ら言葉を吟味する必要がある単元の開発～	附属中学校国語科 大塚 悠希 成田 和基 大谷 颯 長島 優香	県教育局市町村支援部 義務教育指導課主任指導主事 松下 洋介	三郷市立 前川中学校 教諭 本田 耕暢
			埼玉大学准教授 本橋 幸康	
数学	統合的・発展的に考察する力を育成する数学学習指導～生徒が自ら問いを生み出す学習指導法～	附属中学校数学科 奥田 勇司 土屋 響 大野 洋嗣	県教育局市町村支援部 義務教育指導課指導主事 岩崎 貴紘	新座市立 第四中学校 教諭 根本 将哉
			埼玉大学教授 二宮 裕之	
理科	自然を主体的・科学的に探究する生徒の育成～習得・活用・探究を巡る3年間の学びのデザイン～	附属中学校理科 谷津 勇太 伊藤 慶祐 小岩井 爽	県教育局市町村支援部 義務教育指導課指導主事 島田 直也	戸田市立 笹目中学校 教諭 高濱 慧毅
			埼玉大学教授 中島 雅子	
音楽	音楽の学びを追究する生徒の育成～他者と協働しながら音楽表現を生み出す活動を通して～	附属中学校音楽科 織田澤 絵里 小穴 千暁	県教育局市町村支援部 義務教育指導課主幹 兼主任指導主事 佐藤 太一	毛呂山町立 川角中学校 教諭 清水 皇海
			埼玉大学教授 小野 和彦	
美術	自らの理想を追求し続ける生徒の育成を目指した学習指導の工夫～自らの思いをもち、試行錯誤を続ける学習環境の追求～	附属中学校美術科 小西 悟士 吉田 真梨	県教育局市町村支援部 義務教育指導課指導主事 新居 良介	さいたま市立 大宮西中学校 教諭 山岸 啓介
			埼玉大学准教授 桜井 龍	

第2日 5月28日(水)

(1) 研究授業等 1校時(13:30~14:20) 2校時(14:35~15:25)

教科等	学年・組	校時	授業者	題 材 等
社会	2年A組	2	細野 悠司	身近な地域の調査 ～附属中の周りではどのような地域だろうか?～
	3年D組	1	高橋 佑樹	私たちと現代社会 ～よりよい「交渉」のために必要なこととは?～
保健 体育	2年C組	1	阿部 健作	「球技」(ゴール型 バスケットボール)
	3年C・D組	2	山田 大生	「球技」(ネット型 ピックルボール)
	3年C・D組	2	原賀 祥乃	「球技」(ゴール型 タッチラグビー)
技術 ・ 家庭	3年A組	1	木村 僚	「D情報の技術」(計測・制御の技術「IoTで社会を豊かにしよう」)
	3年C組	1	宗 真理子	「A家族・家庭生活」(2)幼児の生活と家族
	ワークショップ	2		「UDL」の枠組みを用いた授業実践
英語	1年C組	1	蓬澤 守	PROGRAM 2 1-Bの生徒たち
	2年B組	1	池田 翔吾	PROGRAM 2 Koshien Project in Africa
	3年A組	2	小内 貴司	PROGRAM 2 Good Night. Sleep Tight.
学校 保健	3年B組	1	内田 貴美子	健康と環境(イ)飲料水や空気の衛生的管理
	3年B組	2	七木田 文彦 内田 貴美子	学級活動(2)心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の育成

(2) 研究協議 分科会(15:40~16:50)

教科等	研究主題	教科等提案者	指導助言者	司会者
社会	公民としての資質・能力の基礎を育成する社会科学習 ～価値判断、意思決定の場面づくりを通じた学習者主体の授業の在り方～	附属中学校社会科 細野 悠司 高橋 佑樹 加藤 雅也	県教育局市町村支援部 義務教育指導課指導主事 丸橋 直樹 埼玉大学准教授 小貫 篤	上尾市立 上平中学校 教諭 小松 裕人
保健 体育	豊かなスポーツライフを実現する 資質・能力の育成へ向けた授業改善 ～生徒の夢中を引き出す授業と 資質・能力の育成～	附属中学校保健体育科 阿部 健作 山田 大生 原賀 祥乃	県教育局県立学校部 保健体育課指導主事 小林 良 埼玉大学教授 有川 秀之 埼玉大学教授 石川 泰成 埼玉大学准教授 森田 哲史	朝霞市立 朝霞第二中学校 教諭 小川 音
技術 ・ 家庭	未来を切り拓く資質・能力の育成 ～UDLの枠組みに基づく 授業改善の提案～	附属中学校技術・家庭科 (技術分野)木村 僚 (家庭分野)宗 真理子	県教育局市町村支援部 義務教育指導課指導主事 村越 崇 県教育局市町村支援部 義務教育指導課指導主事 山崎 元美 埼玉大学教授 山本 利一 埼玉大学教授 名越 斉子 埼玉大学教授 吉川 はる奈	吉川市立 東中学校 教諭 窪田 翔太 上尾市立 西中学校 教諭 嶋野 秀紀
英語	「自分のことば」で 意思疎通できる生徒の育成 ～他者との協働や、自己調整を 図りながら学び続けられる 学習者主体の授業を通して～	附属中学校英語科 小内 貴司 蓬澤 守 池田 翔吾	県教育局市町村支援部 義務教育指導課指導主事 杉崎 亮 埼玉大学准教授 奥住 桂	戸田市立 喜沢中学校 教諭 福士 直子
学校 保健	一人ひとりの質の高い学びの実現 に向けた健康教育 ～これからの創造し、多様な選択を 尊重して支え合う力を養う～	附属中学校養護教諭 内田 貴美子	県教育局県立学校部 保健体育課指導主事 高沢 聖子 埼玉大学准教授 七木田 文彦	さいたま市立 東浦和中学校 養護教諭 船寄 紗代子

10 問い合わせ先 校内教頭 山本 孔紀
副校長 高橋 太一
TEL 048-862-2214 mail fuchu@gr.saitama-u.ac.jp

11 備考

- ・本研究協議会は、教義指第931号（令和6年12月24日付）により、埼玉県教育委員会の後援承認済みです。
- ・本研究協議会は、教学指第7817号（令和7年3月14日付）により、さいたま市教育委員会の後援承認済みです。
- ・参加希望の方は5月23日（金）までに申し込みフォームにてお申し込みください。
※下記URLまたはQRコードを読み込んでください。
※申し込みにはメールアドレスの入力が必要になります。
- ・当日の受付も可能です。当日に本校の受付までお越しください。

参加申し込みサイト

<https://forms.gle/tKaaJkK97LGC6oJ88>



- ・資料のペーパーレス化に伴い、参加費を無料といたします。
- ・両日の研究協議の内容につきまして、
本校のホームページ（アドレス <http://www.jhs.saitama-u.ac.jp/>）に掲載いたします。
ぜひ御覧ください。

